大幸薬品

2025年12月期 (FY2025) 第2四半期(中間期) 連結決算報告

2025年8月

大幸薬品株式会社

証券コード：4574

1. 第2四半期(中間期) 連結決算業績

2. 第2四半期(中間期) セグメント別事業概況

3. 今後の事業戦略について

1. 第2四半期(中間期) 連結決算業績

- 前年同期比では減収・減益となるものの、利益ベースでは概ね計画通り推移
- 売上高の未達は海外医薬品事業の出荷調整(遅延)によるもので、下期に挽回計画

(単位:百万円)

	FY2024		FY2025		増減額	増減率	FY2025(参考)	
	中間期実績	売上比	中間期実績	売上比			中間期計画	増減額
売上高	2,860	-	2,412	-	△447	△15.7%	2,700	△287
売上総利益	1,678	58.7%	1,320	54.7%	△358	△21.3%	-	-
販売費及び一般管理費	1,196	41.8%	1,273	52.8%	+77	+6.5%	-	-
営業利益	482	16.9%	46	1.9%	△435	△90.3%	5	+41
経常利益	528	18.5%	20	0.9%	△507	△96.1%	△5	+25
親会社株主に帰属する中間純利益	764	26.7%	279	11.6%	△484	△63.4%	250	+29

連結売上高推移 (四半期)

- 医薬品事業は、正露丸の供給量減少により前年同期比で減収
- 感染管理事業は、2024年末インフルエンザ流行後、ウイルス除去市場が低調に推移

営業利益の変動要因

- 医薬品事業において、値上げに伴う単価改定影響があるものの、数量減による減収が影響
- 原価影響では、原料・資材の値上げ影響に加え、正露丸の供給体制強化に向けた人件費等が増加

(単位:百万円)

販売費及び一般管理費

- 広告宣伝費は、1-3月期における感染管理事業のWEB広告強化やセイロガン糖衣A携帯用の上市に伴うプロモーション施策開始等により増加

(単位:百万円)

	FY2024		FY2025		増減額	増減率
	中間期実績	構成比	中間期実績	構成比		
販売費及び一般管理費合計	1,196	-	1,273	-	+77	+6.5%
販売費	173	14.5%	282	22.2%	+109	+62.9%
広告宣伝費	58	4.9%	183	14.4%	+124	+212.3%
販売促進費	42	3.5%	48	3.8%	+6	+16.3%
運送費	72	6.1%	49	3.9%	△22	△31.1%
人件費	595	49.8%	551	43.3%	△43	△7.3%
その他経費	427	35.7%	439	34.5%	+12	+2.9%
研究開発費	79	6.6%	96	7.6%	+17	+22.0%
支払手数料	147	12.4%	152	12.0%	+4	+3.1%

経常利益・中間純利益

- 営業外費用では、主に円高に伴う為替差損を計上
- 特別利益では、保有株式の売却に伴う投資有価証券売却益を計上

(単位:百万円)

	FY2024	FY2025	前期比	増減要因等
	中間期実績	中間期実績		
営業利益	482	46	△435	
営業外収益	63	12	△50	主に前期為替差益の影響
営業外費用	18	39	+21	主に当期為替差損の影響
経常利益	528	20	△507	
特別利益	200	361	+161	前期:受取補償金200百万円 当期:投資有価証券売却益347百万円 受取補償金14百万円
特別損失	4	0	△3	
税金等調整前中間期純利益	724	382	△341	
法人税、法人税等調整額	△40	102	+143	
親会社株主に帰属する 中間期純利益	764	279	△484	

- 長期借入金の返済や利益計上により、自己資本比率は、61.7%⇒68.1%へ向上

(単位:百万円)

	FY2024	FY2025	前期比	増減要因等
	期末	中間期末		
流動資産	8,761	7,992	△769	
現金及び預金	4,532	4,139	△392	
売上債権	2,428	1,719	△708	
棚卸資産	1,676	1,975	+299	医薬品在庫 1,771百万円 感染管理在庫 188百万円
固定資産	4,152	3,687	△464	投資有価証券の売却による減少
資産合計	12,914	11,680	△1,234	
流動負債	2,855	2,290	△564	
固定負債	2,094	1,440	△653	長期借入金の返済等
純資産	7,964	7,948	△15	
負債純資産合計	12,914	11,680	△1,234	
自己資本比率	61.7%	68.1%		

連結キャッシュ・フロー状況

(単位:百万円)

	FY2024 中間期	FY2025 中間期	主な要因 (FY25)	
営業CF	256	61	税金等調整前中間純利益	382
			減価償却費	125
			投資有価証券売却益	△347
			売上債権の減少	665
			棚卸資産の増加	△299
			仕入債務の減少	52
			未払金の減少	△319
			賞与引当金の減少	△125
			法人税等の支払額	△17
投資CF	△135	295	設備投資による支出	△151
			投資有価証券売却による収入	447
財務CF	△562	△684	長期借入金の返済	△673
			リース債務返済による支出	△11
現金・同等物換算差額	113	△65		
キャッシュ増減 ※1	△327	△392		
キャッシュ期末残高	4,916	4,139		

※1 営業CF + 投資CF + 財務CF + 現金・同等物換算差額

2. 第2四半期(中間期) セグメント別事業概況

セグメント別事業概況

- 医薬品事業 : 正露丸の出荷減少により減収も、下期は改善していく見込み
- 感染管理事業 : 売上高は前年同期比でほぼ横ばいも、収益性は改善

(単位:百万円)

		FY2024	FY2025	増減額	増減率
		中間期実績	中間期実績		
医薬品事業	売上高	2,654	2,206	△448	△16.9%
	セグメント損益	1,086	601	△484	△44.6%
	利益率	40.9%	27.2%	-	-
感染管理事業	売上高	203	203	+0	+0.1%
	セグメント損益	△195	△151	+44	-
	利益率	△96.1%	△74.2%	-	-
その他事業	売上高	2	2	+0	+11.7%
	セグメント損益	△6	△7	△0	-
	利益率	△288.4%	△284.0%	-	-

- 国内止瀉薬市場は前年同期比(1月-6月)で109.2%と堅調
- 当社シェアはセイロガン糖衣Aが伸長し、48.2%と引き続き高い水準を維持

国内止瀉薬市場

※出所:株式会社インテージSRI+、店頭小売価格ベース

- 需要は堅調に推移するも、正露丸は供給制限の影響により減少
- セイロガン糖衣Aは、供給課題が解消したことや、携帯用の上市により前年同期比で増加

製品カテゴリー別売上高

(単位:百万円)

	FY2024	FY2025	増減額	増減率
	中間期実績	中間期実績		
国内医薬品事業売上高	1,835	1,697	△138	△7.5%
正露丸	1,171	867	△304	△26.0%
セイロガン糖衣A	762	921	+159	+21.0%
正露丸クイックC	125	134	+9	+7.2%
その他 ※	50	54	+4	+9.7%
返品・値引・協賛等	△273	△280	△6	-

※ 整腸薬「ラッパ整腸薬BF」、止瀉薬「ピシヤット」

正露丸

セイロガン糖衣A

セイロガン糖衣A 携帯用

正露丸クイックC

ラッパ整腸薬BF

ピシヤット下痢止めOD錠

- 国内市場との製造スケジュール調整により、前年同期比では減収
- 出荷調整の影響はあるものの、概ね計画通りで進捗

地域別売上高

(単位:百万円)

	FY2024	FY2025	増減額	増減率
	中間期実績	中間期実績		
海外医薬品事業売上高	819	508	△310	△37.9%
中国	163	226	+62	+38.5%
香港	515	195	△320	△62.1%
台湾	148	65	△82	△55.7%
その他対象エリア ※	44	25	△19	△43.8%
返品・値引・協賛等	△52	△3	+49	-

※ 米国、カナダ、タイ、マレーシア、モンゴル等

SEIROGAN®

正露丸

セイロガン糖衣A

- 2024年末のインフルエンザ流行後、出荷は微減したものの返品も減少
- 感染管理事業全体では、前年同期比でほぼ横ばいの実績

対象顧客別売上高

(単位:百万円)

	FY2024	FY2025	増減額	増減率
	中間期実績	中間期実績		
感染管理事業売上高	203	203	+0	+0.1%
国内一般用	175	164	△11	△6.3%
国内業務用	92	89	△3	△3.4%
海外	15	21	+5	+33.0%
返品・値引・協賛等	△80	△71	+9	-

クレベリン

3. 今後の事業戦略について

医薬品事業

- 「正露丸」の供給強化を最優先
- 医薬品事業へのプロモーション強化

感染管理事業

- 市場の下降トレンド脱却に向けた取り組み
- コストコントロール強化による採算性改善

上期までは概ね計画通り進捗

■ 止瀉薬市場は単価上昇の影響もあり、金額ベースでは堅調な推移

〔市場動向〕 1-6月累計	店頭売上 (対前年同期比)	状況
止瀉薬市場	+9.2%	引き続き堅調な市場推移
大幸薬品全体	+16.2%	市場を上回って推移
正露丸	△17.1%	需要は堅調も、供給不足による 出荷調整の影響で減少
セイロガン糖衣A	+63.5%	供給課題の解消と、 携帯用発売などにより大幅増加
正露丸クイックC	+9.8%	伸び率は収れんしてきているものの、 引き続き伸長

※ 出所：株式会社インテージSRI+、店頭小売価格ベース

- 海外売上は製造スケジュールの調整により、上期出遅れているものの、需要は堅調であり、下期以降挽回できる見通し
- 海外売上は中華圏(中国、香港、台湾)が9割以上

<海外売上見込み>

- 国内・海外ともに需要は堅調な見込み
- 優先課題は「正露丸」の供給体制強化

- 正露丸の供給量増加に向け、中期プロジェクトを始動
- 2025年1月に立ち上げた各プロジェクトは順調に進捗

生産能力向上

- 正露丸の製造リードタイム短縮に向けて、4M(※)をベースにボトルネックを分析
※4M:Man(人)、Machine(機械)、Material(材料)、Method(方法)
- 2025年下期以降、必要な設備投資や人員増強を進め、
2026年春以降、30%程度の供給量増加を見込む

生産の安定化

- 設備更新や修繕には、生産停止も伴うことから、「供給責任」と「利益」のバランスを考慮し、段階的な設備投資を計画

吹田工場の強靱化

- ✓ 正露丸の生産拠点である吹田工場の強靱化に向けた修繕及び設備投資を段階的に実施する計画

生産設備の移設・更新

- ✓ 生産設備の最適化に向けた設備更新や京都工場からの設備移設を計画 ⇒ **7月末に予定通り移設完了**

■ 供給量増加に合わせて中華圏(中国、香港、台湾)での販売戦略を強化

香港市場:正露丸認知度
90%以上

■ コア市場

- 香港、台湾、中国(廣東省・福建省)
- 1990年代より販売開始
- 香港市場にて定着後、近隣市場へ波及

コア市場でのブランドエクイティを活かし、
「製品ポートフォリオの拡充(糖衣Aなど)」
と**「中国におけるエリア拡張」**を推進

【中華圏進出エリア】

『ラツパのマークの正露丸』 ～胃腸薬へのパラダイムシフト～

現状

■ 正露丸は「下痢止め」「常備薬」のイメージ

<市場顧客>

*下痢止めの購入割合10代～60代人口=6%=約513万人

あるべき姿

「下痢止め」▶「胃腸薬」

- 正露丸のポテンシャルを活かし、「おなか悩みを解決するブランド」へ

「正露丸」の未認知のポテンシャル伝達を通じた新規顧客の獲得

<下痢止め常備薬に加えた訴求ポイント>

食あたり

市場規模

食事を要因とした腹痛経験者(2024年)
は435万人

水あたり

吐き下し

軟便

くだり腹

消化不良による下痢

※市場規模の推計は当社調べ

■ 外出や旅行ニーズが高まる夏シーズンに「セイロガン糖衣A」のプロモーションを展開

プロモーション概要

- 30～50代/外出ニーズのある女性をメインターゲットとし、「外出時には携帯用、家には常備用の瓶タイプ」を訴求するクリエイティブをSNSほか多数のWEBメディアで展開

7月下旬からスタート

配信メディア:

Instagram/LINE/Smart News/YouTube/TikTokなど

- 新型コロナ以降、除菌市場は縮小傾向
- 市場縮小は下げ止まりつつあるものの、見通しは依然不透明

<売上推移>

(単位:百万円)

80期(FY2025)

市場の下降トレンド脱却に向けた取り組み

- ✓ JSA規格成立後のマーケティング施策実施
- ✓ 季節性の変動が少ない業務用ビジネスの確立

コストコントロールの強化による採算性改善

- ✓ 売上規模に応じたマーケティング費用の投下

- 今秋「二酸化塩素ガス製品」に関するJSA規格(※)が発行される予定 (JSA規格番号:JSA-S1021)

※JSA規格(JSA:一般財団法人日本規格協会)

本規格の概要

空中に浮遊するウイルスに対して、二酸化塩素ガスを用いて行う**ウイルス低減の測定方法・低減効果**について規定する。

⇒二酸化塩素ガス製品において**日本初の規格**

- ◆ JSA規格に基づいた検証試験の実施
- ◆ パッケージや広告表示のコミュニケーションワードを刷新
- ◆ 二酸化塩素ガス製品を用いた新規ビジネスの開拓

クレベリンの売上復活と新たな業務用製品開発へ

これまでの大幸薬品の取り組み

国内特許 34件
海外特許 58件

×

論文^(寄稿含む) 46件
学会発表 60件

■ 特許マップ

- 約20年の間に蓄積してきた知的財産を有効活用し、市場トレンドの回復と業務用領域の確立を目指す

世界のお客様に
健康という
大きな幸せを
提供します。

医薬品事業

においがいい糖衣錠

セイロガン糖衣A

第2類医薬品

昔ながらの常備薬

正露丸

第2類医薬品

感染管理事業

大幸薬品

将来情報に関する注意事項

当資料に記載されている将来情報は、種々の前提に基づくものであり、
将来の計画数値や施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません